

中村哲医師アーカイブ

＊中村医師直筆の書簡（一九八五年六月九日）

お元気ですか。しばらく忙いのは暑い中ではと筆を止めておりました。みなさん、いかにお過ごしでしょうか。

先日、電話や手紙をいただきありがとうございます。また福岡登高会の方々に、おかげさまで品物もうけとりました。こちらは今のところ、まだ下地作りの段階です。おそらく想像されているほどに大活躍をしている訳ではありません。青島島の製作が完了しつつある、といったところでしょうか。

23日に長谷川さんが、お仲間とおいでに訪ねてきました。ゲストルームは江洲君のおみやげで、せん同機もつて、ほんとか泊まりやうにしたりしました。気楽に東下、エー、ラマサーンは、あー一回同好で、お送り。おいでにする頃には街の活気をとりかきとてしよう。一週間の御予定がどうですか。M.W.F.P.と云ってもいいので、とて北部山岳地帯にまで行かせません。それで、ペシャワールに23日、居る街や難民キャンプの事情を大抵は目に、教目を涼しいスワット溪谷で過ごしてはいいかでしょうか。その頃私たちがスワットに米の買い出しに行く予定で、一緒に行きましょう。（スワットの米は日本米に大変似ているので、そのほか、街のマーケットには出たもので。）

それから、おみやげのホテルであった、ラウルペンテの Mrs. Davis Hotel は今春に閉じられました。それで、もしペンテがイスラマートに宿泊する予定でしたら、~~ラッハマート~~ ホテルが最良でしょうか。詳しくは、お仲間にお尋ね下さい。便名を急ぎ知らせして下さい。午後にさせていただきます。

① 会には、ますます盛況の御様子ですか。暑い折、お過ごしに。② ウラ会報は、これに、楽しく熱読させていたがきました。白やいや、タシにされる私は、何やらうらやましくなってきました。（しかし、リスト教用語は、これを地の塩とて申して、私には本望ですか。どうも、楽しく読んで下さい。）

では、またペシャワールでお会いできるのを楽しみにします。

1985.6.9 中村 哲

追伸：先日、マシマ、テープをうけとりました。しかし、10mでは足りないので、これは、黒いものを、あと数巻お借りしたいです。これは、助かります。私は今は、医者職業は、そのように、靴屋のすわって、頭をいっは、です。それから、草、ゴム用のポイント（大抵は、テープの、糸を、買えば、安いもので、す。）を、荷物の中に入れておいて、ありがとうございます。ではまた。

今回の「中村哲医師アーカイブ」は、中村医師直筆の手紙を掲載します。手紙の宛先は、ペシャワール会事務局。内容は、物品受領のお礼や近況報告、そしてペシャワールを訪問予定の長谷川氏への滞在プラン提案、事務局への^{お礼}の、追伸は追加の物品調達依頼。文中に登場する「ウラ会報」は、当時の事務局メンバー十五、二十名で回覧されていた同年代の仲間の話題を集めた近況報告（不定期刊）で、中村医師にも送られていました（九州大学附属図書館「中村哲著述アーカイブ」<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/nakamuraetsu>）の資料説明文を参照。同アーカイブではデータを保存・整理、インターネットで公開しています。